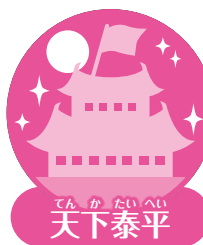


きょうと 京都府

きょうと へいあん じだい えど じだい
京都は平安時代から江戸時代まで日本の都として栄えました。多くの歴史的建造物が数多く残り、日本の伝統文化にふれることができます。



やまほこじゆんこう あくりょう 山鉾巡行で悪霊を おいはらう ぎ おん まつり 祇園祭

スネ入付
2016年

へいあん じだい ねん きょうと
平安時代の869年、京都をはじめ日本の各地で伝染病がはやりました。そこで病をもたらす悪霊をはらうためにはじめられたのが祇園祭です。1か月間の長い祭りの中でも山場となるのが、17日と24日の、「山」と「鉾」とよばれる山車による山鉾巡行と、神輿渡御です。山鉾巡行は悪霊を引きつけて外に追い出す役割があり、神輿渡御の前におこなわれます。神輿は17日に八坂神社から御旅所まで、24日には御旅所から八坂神社までをわたります。その後、最終日の31日には八坂神社の境内で、無病息災を祈る茅の輪くぐりの神事がおこなわれます。



「鉾」は屋根の上に長い鉾を、「山」は松の木をつけているよ。

やまほこじゆんこう あくりょう
山鉾巡行前の夜におこなわれる「宵山」。それぞれの山鉾に提灯がともり、祇園囃子が京都の町にひびく。



17日の山鉾巡行で先頭を巡行する長刀鉾。高さ約25メートル、重さ約12トンもある。

祭日 7月1日～31日 場所 京都市、八坂神社 起源 869年



へいあん きぞく 平安貴族のすがたで ぎょうれつ し ない すず 行列が市内を進む あおい まつり 葵祭

やく ねんまえ さくもつ みの
約1400年前、作物が実らなかったときに天皇が下鴨神社と上賀茂神社に使者を送り、馬に鈴をつけて走らせ、速さを競わせたのが祭りの始まりといわれています。京都御所から下鴨神社をへて上賀茂神社まで、平安時代の衣装を身に着けた人びとの列がつづきます。神社に着くと舞が披露され、馬を走らせる儀式がおこなわれます。葵祭ははじめ、賀茂祭とよばれていましたが、江戸時代に衣装などを葵の葉でかざるようになったことから葵祭とよぶようになりました。



天皇の使者が乗る牛車。牛車は、平安時代には貴族の間で一般的な乗り物だった。



へいあん じだい か
平安時代に書かれた物語にも祭りの様子がえがかれているんだって！

祭日 5月15日
場所 京都市、下鴨神社・上賀茂神社
起源 古墳時代後期

輿に乗り、行列に参加する斎王代。祭りの主役ともいわれる。



せん ねん こ じだい 千年を超える時代の うつ か みる 移り変わりを見せる大行列 じ だい まつり 時代祭

きょうと と
京都に都がうつされた794年から1100年が経ったのを記念して、1895年に平安神宮がつくられました。平安神宮の完成を祝う祭りとしてはじまったのが、時代祭です。平安神宮の祭神の霊をのせた乗り物(鳳輦)が京都市内をまわり、行列がつづきます。江戸時代末期の武士や戦国時代の武将、平安時代の貴族など、8つの時代を20の行列に分けて歩き、時代の移り変わりをあらわしています。

祭日 10月22日
場所 京都市、平安神宮
起源 1895年



行列の長さは約2キロメートルにもなるんだって。



行列にはそれぞれテーマがある。写真は、織田信長が京都に兵を率いてやって来た様子をあらわした行列(織田公上洛列)。